

第58回技能五輪全国大会 特集

- ・板橋優斗選手（茨城）が優勝、厚生労働大臣賞獲得
- ・女性技能者1名、現役高校生5名が参加
- ・新型コロナウイルス感染症対策で初の無観客開催

第五十八回技能五輪（五面参照）

全国大会「配管職種」が、十一月十三日から十八日まで愛知県常滑市の愛知県国際展示場で三十八名が参加して開催された。競技標準時間は六時間十分（打切時間七時間）で、当日公表された別掲の課題等により配管組立て作業に取り組んだ。

競技終了後、公開水圧審査、測定審査が行われ、主催者による成績会議において入賞者が決定し、十一月十六日に同展示場で行われた閉会式で表彰された。（入賞者名簿は優勝した（株）関電工東関東営業本部・茨城支店の板橋優斗選手には厚生労働大臣賞が授与された（大会詳細は全管連ジャーナル十二月号に掲載）。なお、主催者からの要請に基づき、東京都連の渡邊弘幸氏と金子達之輔氏が競技委員として課題作成、競技実施運営、採点審査等を行った。併せて、会場設営、競技運営について愛知県連の役員員並びに青年部各位にも協力をお願いした。

本大会には、全四十職
種の競技に九百四十四名

会は令和三（二〇二二）年十二月に東京都で開催される予定。

また、令和三年九月に中国・上海において開催が予定されていた第四十六回技能五輪国際大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和四（二〇二二）年開催月未定に延期されることなどが決定している。

金貴	板橋優斗(茨城・ 立字都宮工業高校)
銀賞	嶺井政明(東京・ 敢闘賞 東谷幸憲(広 島・広島市指定上下水道 工事業協同組合)、及川 裕己(東京・西原工事 (株)、大川喜紀(愛知・ 武田機工(株)滝工場現 業部)、黒柳太稀(愛知・ 武田機工(株)滝工場現 業部)
栃木・(株)関電工	北関東北信越営業本部 栃木支店、小田原溪太 太(栃木・(株)関電工 工事業協同組合)、及川 裕己(東京・西原工事 (株)、大川喜紀(愛知・ 武田機工(株)滝工場現 業部)、黒柳太稀(愛知・ 武田機工(株)滝工場現 業部)
関東北信越営業本部 栃木支店	武田機工(株)滝工場現 業部、黒柳太稀(愛知・ 武田機工(株)滝工場現 業部)
文庫	武田機工(株)滝工場現 業部

銅賞 千葉浩斗(岩手・業部)、中能七海(山口・
岩手県立産業技術短期大(株) 桐田商会、飯田大
学校水沢校)、宮永優馬 翔(石川・(有) 剛配管
東京・西原工事(株))、設備工業。



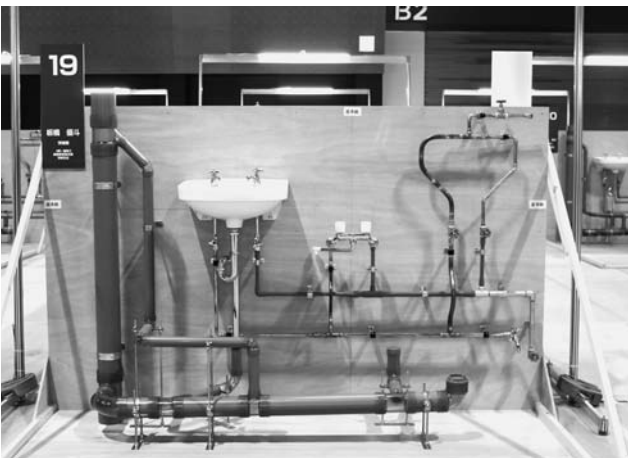
競技の様子



次代を担う青年技能者たち



全設研会員校の生徒の皆さん



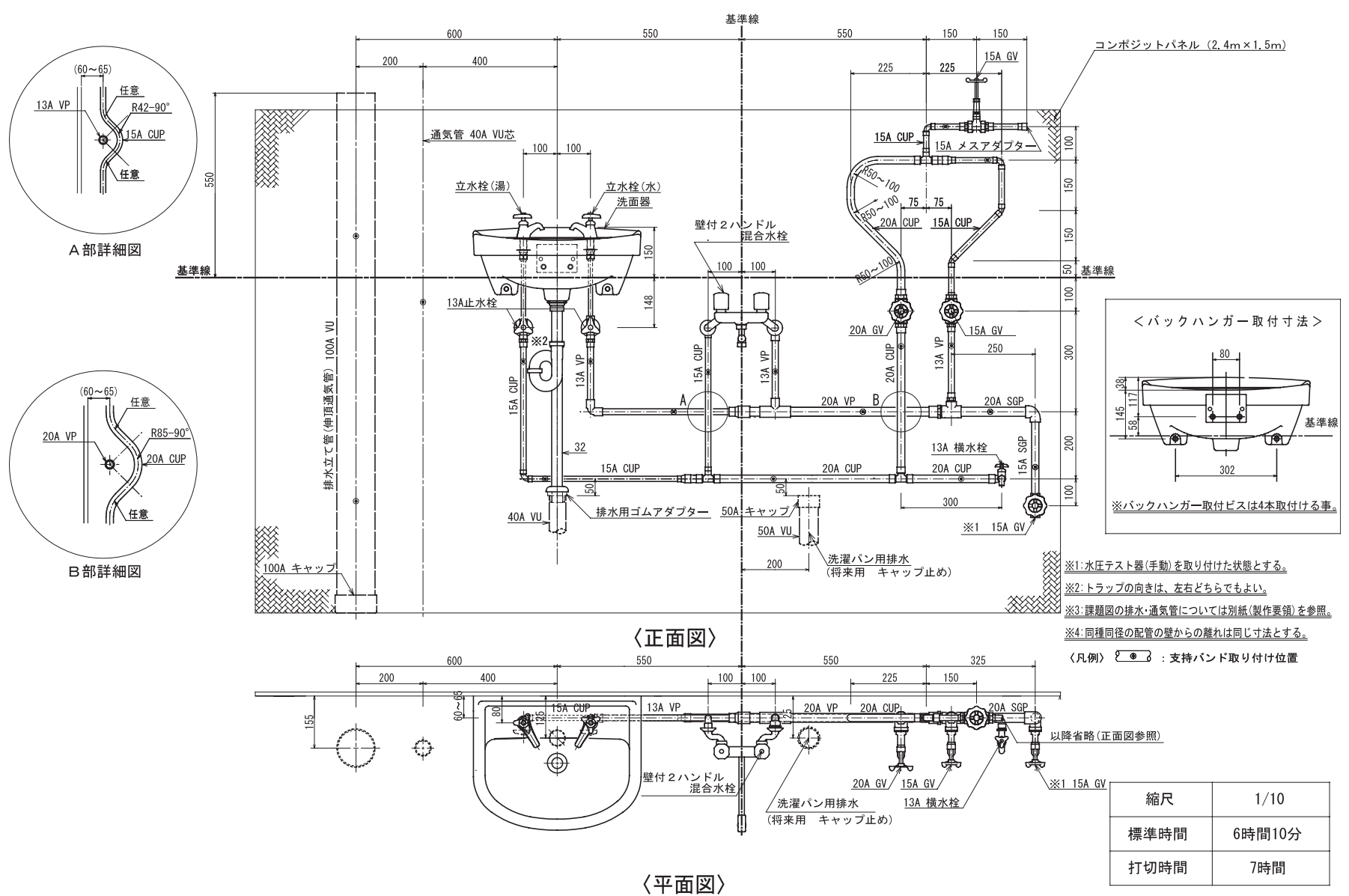
板橋選手の優勝作品



公開水圧審査の様子

当日公表

第58回技能五輪全国大会「配管」職種 当日公表課題



第59回技能五輪全国大会(東京)
における配管職種参加選手
所属企業への助成について

参加する本会所属員企業の
参加選手1人につき5万円を助成

全管連では業界団体と組合を通して参加企業に(配管職種)の実施にあたり、その準備・運営等に協力しておりますが、配管技能の向上・継承、後継技能者の確保・育成等につなげるため、技能大会への参加者を増やし、さらなる活性化に向けた支援策として、今年大会の同職種に参加した本会所属企業には、選定案内は、二〇二一年六月頃に発出予定です。多数の組合員のご参加をお願いいたします。



提供を受けた管材料を使用して
実習に励む生徒たち

全国設備工業教育研究会
「設備工業科」等在校生への
技能資格取得を本会が応援

在校生へ技能検定試験二回分の
練習用管材料を提供

全管連では、優秀な若手技術者、技能者の確保の観点から、都道府県職業能力開発協会が実施する令和二年度技能検定「配管(建築配管作業)」を受検する全国設備工業教育研究会会員校「設備工業科等の生徒に対し、昨年に引き続き、二回分の練習用管材料を提供した。

全国設備工業教育研究会(略称・全設研、会員二十四校)は、公立工業高等学校の設備工業科などを有する団体で設備工業教育の研究・向上を目的とし、その会員校の卒業生の就職先は本業界となっている。ピーク時には会員校が四十一校とな

2級配管技能検定試験 材料提供先

No.	学校名	科名	送付数 (セット数)
1	宮城県白石工業高等学校	設備工業科	4
2	栃木県立宇都宮工業高等学校	環境設備科	5
3	新潟県立新潟工業高等学校	建築科 建築設備コース	18
4	静岡県立掛川工業高等学校	環境設備科	6
5	大阪府立布施工科高等学校	建築設備系専攻	9
6	広島市立広島工業高等学校	環境設備科	5
7	熊本県立小川工業高等学校	設備工業科	17
8	沖縄県立南部工業高等学校	電気設備科 設備工学コース	4
9	沖縄県立美里工業高等学校	設備工業科	8
合 計			76

3級配管技能検定試験 材料提供先

No.	学校名	科名	送付数 (セット数)
1	青森県立むつ工業高等学校	設備エネルギー科	7
2	青森県立名久井農業高等学校	環境システム科	22
3	岩手県立宮古商工高等学校	建築設備科	20
4	秋田県立男鹿工業高等学校	設備システム科	8
5	宮城県白石工業高等学校	設備工業科	6
6	栃木県立宇都宮工業高等学校	環境設備科	6
7	新潟県立新潟工業高等学校	建築科建築設備コース	29
8	静岡県立掛川工業高等学校	環境設備科	4
9	大阪府立布施工科高等学校	建築設備系専攻	94
10	広島市立広島工業高等学校	環境設備科	10
11	沖縄県立南部工業高等学校	電気設備科設備工学コース	16
12	沖縄県立美里工業高等学校	設備工業科	31
合 計			253

第58回技能五輪全国大会(配管職種)入賞者名簿

No.	都道府県	氏名	性別	所 属	金(金賞)・銀(銀賞)・銅(銅賞)・敢(敢闘賞)	全設研在校生 第58回入賞	所属組合名 (全管連会員)
1	岩手県	千葉 浩斗	男	岩手県立産業技術短期大学校 水沢校		銅	
2	茨城県	板橋 優斗	男	(株)関電工 東関東営業本部 茨城支店		金	
3	栃木県	小田原 溪太	男	(株)関電工 北関東・北信越営業 本部 栃木支店		銀	
4	栃木県	益子 亮太	男	(株)関電工 北関東・北信越営業 本部 栃木支店		銀	
5	栃木県	石井 悠貴	男	栃木県立宇都宮工業高等学校		銅	○
6	東京都	宮永 優馬	男	西原工事(株)		銅	
7	東京都	及川 裕己	男	西原工事(株)		敢	
8	東京都	嶺井 政明	男	西原工事(株)		銀	
9	石川県	飯田 大翔	男	(有)剛配管設備工業		敢	
10	愛知県	黒柳 太稀	男	武田機工(株) 滝工場 現業部	愛知県連	敢	
11	愛知県	大川 喜紀	男	武田機工(株) 滝工場 現業部	愛知県連	敢	
12	広島県	東谷 幸憲	男	広島市指定上下水道工事業 協同組合	広島県連	敢	
13	山口県	中能 七海	女	(株)桐田商会		敢	

第31回技能グランプリ(愛知)
「建築配管」職種競技を開催へ
2月20日に愛知県国際展示場で開催

一級技能士を対象とする標記大会が、経済産業省、国土交通省等の後援のもと、来年二月に愛知県の愛知国際展示場で実施される。

主催の厚生労働省、中央職業能力開発協会及び(一社)全国技能士会連合会は、開催計画を公表し、令和三年二月十九日(金)から二十一日(月)までの競技日程となる。

近年、建築配管職種の競技への参加者は減少傾向にあり、継続的な競技会開催が危ぶまれているため、全管連では、配管

技能の向上・継承、後継技能者の確保・育成等に つなげるため、同職種に参加する本会所属員企業の選手一人に十萬円の助成を行っているほか、技能大会出場者等への指導を行う指導者派遣を行っている。

◇第三十一回技能グランプリ(愛知)
1、目的
特級、一級及び単一等級の技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資すること

とを目的とする。
2、主催 厚生労働省及び中央職業能力開発協会(一社) 全国技能士会連合会。
3、建築配管職種の競技会場・愛知県国際展示場(予定)。
4、日程(建築配管) 令和三年二月十九日(金) 競技会場下見・開会式(調整中)
二月二十日(土) 競技。二月二十二日(月) 閉会式(調整中)。
5、参加者数 選手・約五百人、大会役員など約四百人。(前回大会実績)
6、出場資格 次のいずれかに該当する者。①技能検定の特級、一級又は単一等級の技能士であること。②都道府

県職業能力開発協会会長又は都道府県技能士会(連合会) 会長から推薦された者であること。③過去のグランプリでの同一職種において、第位 の者でないこと。
なお、詳細は各都道府県の職業能力開発協会までお問い合わせ下さい。
7、表彰 ①主催者賞(金・銀・銅メダル)。
②内閣総理大臣賞(部門別優秀者) ③厚生労働大臣賞(最優秀者及び最優秀技能選手団) ④厚生労働省人材開発統括官賞(優秀技能選手団)等。

全管連及び(一社)日本空調衛生工業業協会、日本配管工業業団体連合会の三団体は、令和二年度登録配管基幹技能者講習として、十月二十九日から十月三十一日まで大阪府大阪市のエル・おおさかで第一回前期登録講習(五十一名受講)を、十一月二十六日から二十日までに石川県金沢市の石川県地場産業振興センターで第二回前期登録講習(四十六名受講)を実施した。

両会場共に阿部弘之技術参事が「労務・資材管に(一財)全国建設研修センター(東京都小平市)で、第三回が令和三年二月十八日(木)と二十日(土)に合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島県広島市)にて行われることとなっている。

令和2年度登録配管基幹技能者講習
大阪、石川で開催

講習最終日には、講習 審査試験が行われ、その 可否の結果は、一月下旬 に発表される。試験に合格した修了者には「登録 配管基幹技能者講習修了 証」が交付される。
なお、後期登録講習は、第二回が令和三年二月四日(木)と二月六日(土) センター(東京都小平市)で、第三回が令和三年二月十八日(木)と二十日(土)に合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島県広島市)にて行われることとなっている。



(写真上) 大阪会場
(同下) 石川会場





建設業年末年始労働災害防止協
会(会長・今井雅則氏)
では、厚生労働省・国土
交通省の後援により、毎
年、十二月一日から一月
十五日までの期間を「建
設業年末年始労働災害防
止強調期間」と定め、「無
事故の歳末 明るい正
月」のスローガンのもと、
労働災害防止の徹底を図
る運動を展開する。詳細
は同協会のホームページ
を参照して下さい。
http://www.
kensaihou.or.jp/
index.html
建設業における労働災

建設業年末年始労働災害 防止強調期間始まる

― 無事故の歳末 明るい正月 ―

令和2年度

給水装置工事主任技術者試験

1万1238名が受験
合格率43・5%

合格率は前年度比2・3%減

令和2年度
十一月三十日、(公財) 者宛に送付されている。
給水工事技術振興財団と
厚生労働省が発表した合
格基準は次のとおり。

1、配点

一題につき一点とす
る。(必須六科目計四十
点、全科目計六十点。)

2、合格基準

一部免除者(水道法施
行規則第三十一条の規定
に基づき、試験科目の一
部免除を受けた者をい
う。)においては次の(1)
及び(3)、非免除者(全
科目を受験した者をい
う。)においては次の(1)
(3)の全てを満たす
こととする。

公衆衛生概論一点、水
道行政二点、給水装置工
事法四点、給水装置の構
造及び性能四点、給水装
置計画論二点、給水装置
工事業務論二点、給水装
置の概要五點、給水装置
施工管理法二点。

三多摩管工事協同組合 規模を縮小し防災訓練を実施

東京都連の三多摩管工
事協同組合(理事長・松
本正美氏 写真下・中央)
は十一月二十八日、令和
二年度防災訓練(後援・
東京都水道局、東京都道
(株)を国営昭和記念公
園で実施した。

当日は組合員約百九十
名、来賓・賛助会員が約
三十名が出席した。組合
員による配水・給水管応
急復旧訓練として、①配
水小管②給水管分岐③給
水管配管④止水栓の各部
分の漏水復旧訓練を行っ
た。なお、東京都管工事
工業協同組合の宮崎理事
長(写真下・右)と、災
害時相互応援に関する協



止水栓部分 漏水復旧訓練



松本理事長(中央)

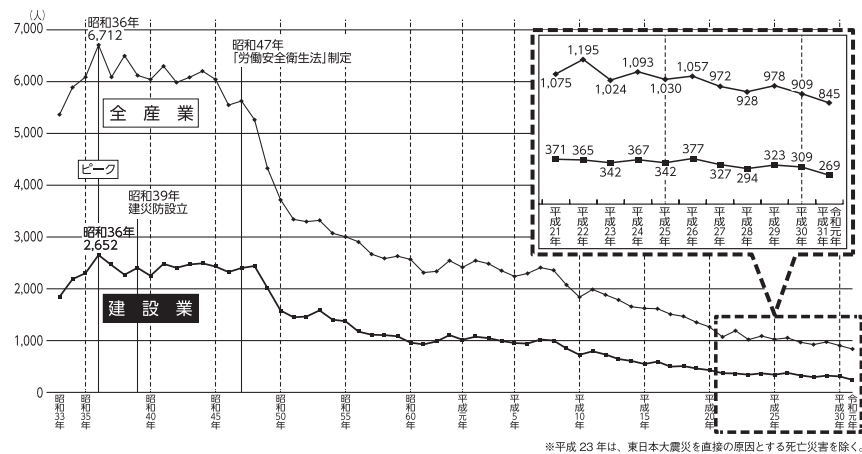
いた参集訓
練、ドロー
ンのデモン
ストレーシ
ョンや防災
フェアーを
中止し、規
模を縮小し
ての実施と
なった。

害は、会員各位をはじめ
関係者の熱意と日々の地
道な安全衛生管理活動に
より、その発件数は長
期的に減少傾向にありま
す。本年十月現在の速報
値を見ると、建設業にお
ける死亡者数は百八十人
で前年同期比七人増、休
業四日以上死傷者数は
九千六百九十二人で前年
同期比九十八人減となっ
ています。さらに、建設
業の労働災害で最も多い
墜落・転落災害による死
亡者数は六十五人で前年
より六人減となっており
ますが、依然として全体
の約四割を占めており、
高所作業における作業
床・手すりの設置、フル
ハネス型安全帯の使用
をはじめとした墜落・転
落災害防止対策の一層の
推進をお願いいたしま
す。

建設業では、激甚化す
る自然災害からの復旧・
復興工事に加え、国土強
靱化を実現するためのイ
ンフラ整備工事等が全国
各地で行われておりま
す。一方でこれから迎え
る冬期には凍結や降雪等
に伴う労働災害や火災に
よる事故、年末年始の工
事の輻輳化などによる労
働災害発生リスクの高ま
りが懸念されます。この
ような状況を踏まえ、今
一度、労働災害防止活動
の強化に取り組みいた
だきたいと思っています。

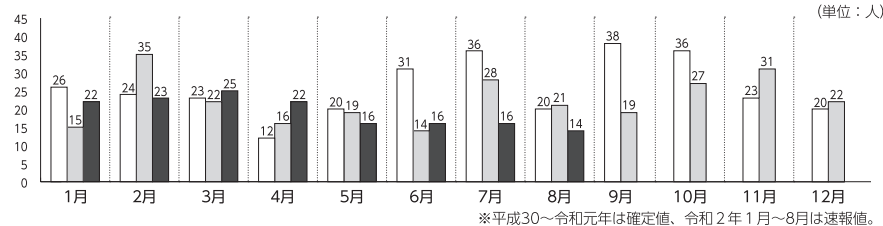
特に、労働災害防止活
動を実効あるものとする
ために、店社及び現場で
のリスクアセスメントの
確実な実施と、より快適
な職場形成を目指して改
訂された「建設業労働安
全衛生マネジメントシ
ステム」(ニューコスモス
の積極的な導入・運用を
図ると共に、現場で働く
人の健康の保持・増進に
向け、「建災防方式健康
KYと無記名ストレスチ
ェック」の実施など、現
場のメンタルヘルス対策
を積極的に進めていた
きたいと思っています。

資料1 労働災害(死亡災害)発生件数の推移(昭和33年～令和元年/確定値)



※平成23年は、東日本大震災を直接の原因とする死亡災害を除く。

建設業における月別死亡災害発生状況(平成30年～令和2年)

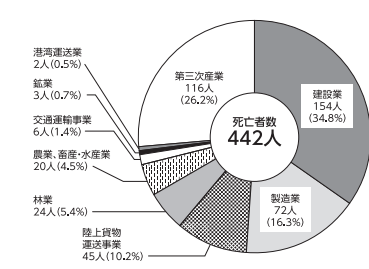


※平成30～令和元年是確定値、令和2年1月～8月は速報値。

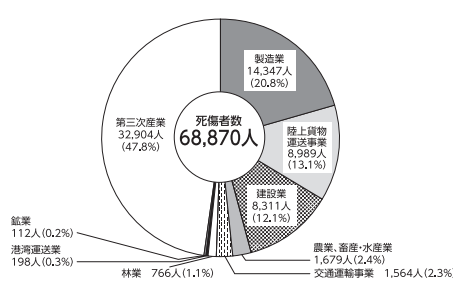
資料2 令和2年の労働災害発生状況(1月～8月・速報値)

1 全産業における労働災害発生状況(1月～8月)

死亡災害発生状況



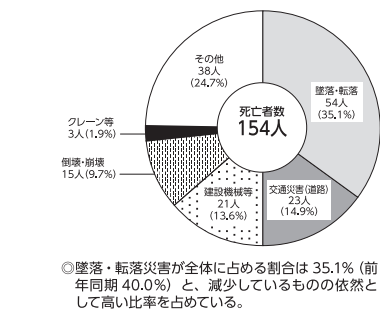
休業4日以上死傷災害発生状況



(建災防発行：令和2年度建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領より転載)

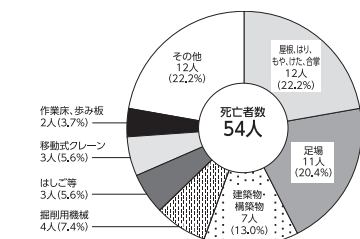
2 建設業における労働災害発生状況(1月～8月)

死亡災害発生状況



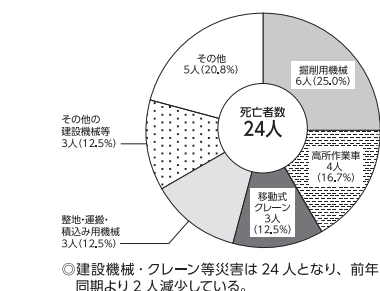
○墜落・転落災害が全体に占める割合は35.1%(前年同期40.0%)と、減少しているものの依然として高い比率を占めている。

墜落・転落災害



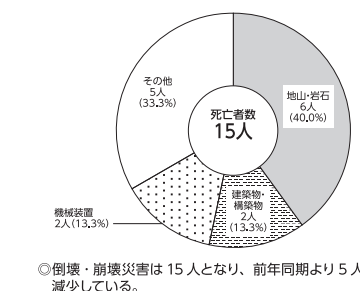
○墜落・転落災害は54人となり、前年同期より8人減少している。

建設機械・クレーン等災害



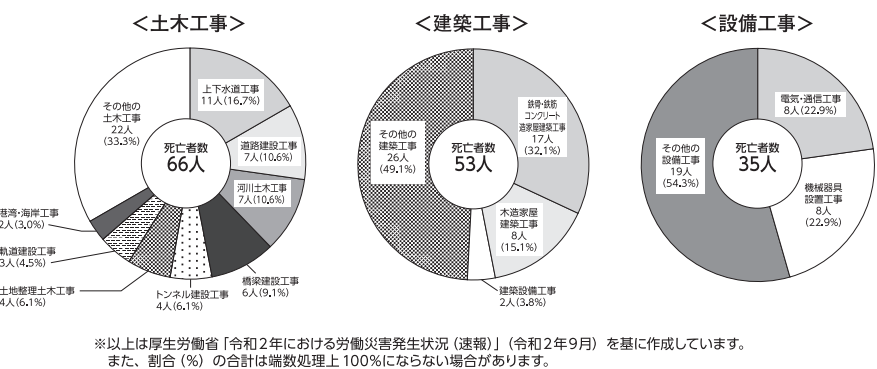
○建設機械・クレーン等災害は24人となり、前年同期より2人減少している。

倒壊・崩壊災害



○倒壊・崩壊災害は15人となり、前年同期より5人減少している。

各工事の種類別発生状況



※以上は厚生労働省「令和2年における労働災害発生状況(速報)」(令和2年9月)を基に作成しています。また、割合(%)の合計は端数処理上100%にならない場合があります。

愛媛県連が高等学校への設備科設置等について公明党の石田副代表、山本厚労副大臣に要望



愛媛県管工事協同組合は十月三十一日、同県松連合会(櫻井健吾会長)―山市の総合コミュニティセンターにおいて公明党との政策要望懇談会を開催した。

当日は、櫻井会長はじめ県連役員が、公明党副代表で党上水道・簡易水道整備促進議員の石田祝穂衆議院議

員、厚生労働副大臣で同党四国方面副部長の山本博司参議院議員らと組合員

甲府市福祉施設へ自動手指消毒器を贈呈



贈呈式での雨宮理事長(右から2人目)と樋口市長(同3人目)

甲府市組協

甲府市管工事協同組合への「自動手指消毒器」(雨宮 正理事長)は、二十二台の寄贈を決定し、十一月二十五日に同市市長室において行われた贈呈式に雨宮理事長(右から2人目)と樋口市長(同3人目)が出席した。

雨宮理事長は、二十二年の寄贈を決定し、十一月二十五日に同市市長室において行われた贈呈式に雨宮理事長(右から2人目)と樋口市長(同3人目)が出席した。

設立四十周年記念事業の一環として、社会福祉への貢献の観点から、「甲府市福祉施設水道点検サービス」と名付け、簡易的な点検業務を平成十四年度より毎年実施している。市福祉部と連携を図り、市内の福祉施設を対象に年次計画的に要請を受けた二十二施設の給水設備について無料点検や寒波による水道管の凍結防止の指導・助言もしている。

令和三年二月五日(金)午後一時三十分～午後三時三十分(予定)。

「みらい市 2020」の開催は、令和三年二月五日(金)午後一時三十分～午後三時三十分(予定)。

計画③設計・監理④用地・補償⑤施工・検査⑥管理・運用・防災・保全

個人(本会会員資格の有無を問わない)。

3、選考の範囲

令和二年十二月末までの業績とする。

「地域未来牽引企業」は、経済産業省が、平成二十九年七月三十一日に施行された「地域未来投資促進法」により、今後地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業「地域経済牽引事業」を促進することに伴い、関連施策として今後の地域経済を牽引することが期待される企業を「地域未来牽引企業」として選定するもの。

同組合は昭和三十七年に設立。平成四年に市水道局(当時)と「災害協定」を締結し、平成七年に発生した、阪神淡路大震災や平成十六年と十九年の新潟中越地震の災害復旧のための支援活動を実施した。また、組合の

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった方々に対して広く表彰している賞です。

令和三年一月二十日(水)午後五時必着。

7、提出先

土木学会技術功労賞選考委員会 一六〇〇〇〇四 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内) 電話〇三―三三五五―三四四二。

「地域未来牽引企業」は、今年度は、本会賛助会員の(株)ミナミサワ(南澤宏一代表取締役社長)をはじめとする千六十者を選定し公表した。

「地域未来牽引企業」は、経済産業省が、平成二十九年七月三十一日に施行された「地域未来投資促進法」により、今後地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業「地域経済牽引事業」を促進することに伴い、関連施策として今後の地域経済を牽引することが期待される企業を「地域未来牽引企業」として選定するもの。

2日(公財)住宅リフ村主任が出席した。

オム・紛争処理支援センターの住宅紛争処理技術者講習令和二年度第五回運営委員会が午後一時三十分合せて午前十時より、東京都中央区の空衛

本副委員長、中嶋委員、雨委員、仲田委員、粕谷専務、宮委員、柴田委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長。

16日 令和二年度第一回新築委員、鎌田委員、中川委員、山崎委員、永野委員、谷口委員、水野委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、佐藤次長。

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった方々に対して広く表彰している賞です。

令和三年一月二十日(水)午後五時必着。

7、提出先

土木学会技術功労賞選考委員会 一六〇〇〇〇四 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内) 電話〇三―三三五五―三四四二。

令和三年一月二十日(水)午後五時必着。

7、提出先

土木学会技術功労賞選考委員会 一六〇〇〇〇四 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内) 電話〇三―三三五五―三四四二。

令和三年一月二十日(水)午後五時必着。

7、提出先

土木学会技術功労賞選考委員会 一六〇〇〇〇四 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内) 電話〇三―三三五五―三四四二。

令和三年一月二十日(水)午後五時必着。

7、提出先

土木学会技術功労賞選考委員会 一六〇〇〇〇四 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内) 電話〇三―三三五五―三四四二。

全管連のうごき

11月

18日 臨時変化と健全性評価に関する検討委員会(WEB)が画した。

28日 三多摩管工事協同組合主催の令和二年度防災訓練が午前九時二十分より、東京都立川市の国営昭和記念公園にて行われ、上田局長が見学した。

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

同日 第三十九回事業委員会が午後一時三十分より、松本常務、上田局長。

17日 第四十回技術委員会、第五十回総務委員会が午後二時より、東京都千代田区の手ホテル及びW千代田区の衆議院第一議員イルム及びWEB併用にて行われた。出席者は次の席者は次のとおりである。当副会長、粕谷専務、松本

同日 第四十回経営委員理事、工藤理事、粕谷専務、市役所の愛媛県民文化会館に、水道整備促進議員懇談会、和記念公園にて行われ、上田局長が見学した。

24日 公明党上水道・簡易水道整備促進議員懇談会、和記念公園にて行われ、上田局長が見学した。

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

令和二年技術功労賞候補者の推薦を募集

(公社)土木学会

(公社)土木学会は、今年度で二十七回目を迎える「技術功労賞」候補者の推薦を募集中です。本賞は、人目につくべく業務に従事するなど長年にわたる地道な努力の積み重ねを通じて土木工学の進歩または土木事業の発展に功労のあった者。対象分野として、次の六分野がある。①教育・研究・啓発②調査・

